

【Ⅳ. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	・留学フェアを実施し、生徒・保護者・教員(参加者118人)へ留学支援の取り組みなどの情報提供を行い、海外への挑戦意欲の喚起を図った。
②	・小・中学生を対象としたイングリッシュ・キャンプを実施し、外国語実習助手(ALT)との交流や異文化理解プログラムなどを通じて、多様性を受け入れる力の育成が図られた。
③	・道徳教育等により郷土学習の充実を図るとともに、学校教育活動を通じて郷土や国を愛する心を育成した。
④	・「全国学力・学習状況調査(H27)」でB問題(活用)における全国平均以上の児童生徒の割合はA問題(知識)に比べ小学校で6.4ポイント、中学校で3.9ポイント低く、論理的な思考力や表現力の育成に向けた取り組みが必要となっている。 ・特別支援学校教員の授業力向上を図るため、全16校で授業研究会を実施するとともに、大分教育ネットワークサイト上に授業実践例を共有した。 ・思考力・判断力・表現力の育成のため、「県立学校授業改善実施要領」に基づく授業改善の推進を図った。
⑤	・小・中・高等学校を通じた英語力向上を目指した「大分県英語教育改善推進プラン」を策定(H28.3)し、英語教育の改善の方策を示した。

【Ⅴ. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(27年度事業)	事業コスト(千円)	事務事業評価		主要な施策の成果掲載頁
			総合評価	28年度の方向性	
①	はつらつ大分人材育成事業	18,388	A	終了	192
②⑤	英語教育強化事業	4,841	A	終了	193

【Ⅵ. 施策に対する意見・提言】

○平成27年度第26回大分県教育委員会(H28.3)
・「大分県グローバル人材育成推進プラン」の推進に当たっては、地域の人材や、県内大学の留学生も活用すべきである。

【Ⅶ. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
B	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の海外への挑戦意欲を喚起するため、外国人実習助手(ALT)との交流やイングリッシュ・キャンプを実施し、グローバルに活躍する人材に触れる機会の充実を図る。 ・道徳教育等により、多様な文化を尊重できる態度や郷土・国を愛する心の育成を図る。 ・教育課程編成の中心となる教員を対象に、教育課程編成上の課題解決に焦点を当てた研究集会を開催する。 ・小・中・高等学校を通じた児童生徒の英語力向上を目指し、「大分県英語教育改善推進プラン」に基づき、英語教育の改善を図る。 ・県内大学の留学生や地域人材を活用しながら、グローバル人材に必要な多様性を受け入れ、協働する力を育成する。